

「被災者支援コーディネート事業」における 企業CSRマッチングの成果について

平成27年1月に開始した「被災者支援コーディネート事業」により、企業のCSR活動と自治体ニーズのマッチングに至ったため報告します。

○内容

キャノン株式会社及び福島キャノン株式会社（以下「キャノン」という。）は、コミュニティづくりの支援のため、大熊町復興支援員と連携し、いわき市において、福島県大熊町民向けのカメラ教室を開催した。

現在も全町民が町外での避難生活を余儀なくされている大熊町では、復興支援員の活動を通して、離れ離れに暮らす町民同士の絆を維持していくために、各種のコミュニティ支援活動を実施しているが、子育て世代の男性が参加できる交流の場が少ないことが課題となっている。今回、キャノンにより、父親層をメインターゲットとするため写真をコンテンツとした「お父さんのためのカメラ教室」が企画・開催され、大熊町民の交流の場、絆づくりに寄与した。

【「お父さんのためのカメラ教室」概要】

日時：2015年11月28日(土)13:00～15:30

場所：いわき・ら・ら・ミュウ 2階会議室

対象：大熊町民

概要：キャノン講師による一眼レフカメラ
初心者のための講義及び撮影体験

参加者：15名



【被災者支援コーディネート事業概要】

復興庁において、平成27年1月から事業実施。被災者の見守りやコミュニティづくりの支援を充実するため、①支援体制の充実、②企業CSR活動（企業の社会貢献活動）と自治体ニーズのマッチング等を実施。

【「福島コミュニティサポート」活動について】

キャノンは、2012年から、社員やOBを講師として写真教室や写真撮影会、交流会を実施する「福島コミュニティサポート」等の活動により、福島県におけるコミュニティづくりの支援等、様々な支援活動を継続している。

(本件照会先)

復興庁 被災者支援班

参事官 牛島、担当 北中

TEL 03-5545-7481